



## 平成30年度 地域発 元気づくり支援金【北信地域】 29事業が内定しました。

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、北信地域事業選定委員会による審査を経て下記のとおり内定しました。

- 当地域の要望状況は、39団体、41事業で、要望額の合計は、9,654万円でした。
- 内示額の合計は、当地域への配分額(予算額)5,999万7千円に達しました。

### 1 事業区分別の選定状況

(単位:千円)

事業区分	選 定 状 況		
	件数	支援額	事業例
1 地域協働の推進	6	15,457	協働のむらづくり事業、空き店舗リノベーションプロジェクト
2 保健、医療、福祉の充実	1	1,268	子どもの貧困対策・信州こどもカフェの推進
3 教育、文化の振興	2	1,744	市民第九コンサート(プレ飯山音楽祭)
4 安全・安心な地域づくり	1	319	住民総ぐるみの子どもの見守り隊活動
5 環境保全・景観形成	3	8,009	里山保全・間伐材利活用・ブランド化
6 産業振興、雇用拡大 (小計)	16	33,200	
(1) 特色ある観光地づくり	8	14,674	信越自然郷ガストロノミー・ツーリズム推進、ビアフェス
(2) 農業の振興と農山村づくり	2	4,482	飯山産そば生産振興
(3) 森林づくりと林業の振興	0	0	
(4) 商業の振興	0	0	
(5) その他	6	14,044	信州中野おごっそフェア
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	0	0	
合 計	29	59,997	

### 【再掲】県全域及び地域で重点的に推進するテーマに関する事業分

(単位:千円)

重点テーマ区分	件数	支援額	事業例
信州こどもカフェの推進	1	1,268	子どもの貧困対策・信州こどもカフェの推進(再掲)
信州ACEプロジェクトの推進	0	0	
地域内経済循環の拡大	3	4,910	かまぐらりの里どぶろく事業、極野の山菜ブランド化
県内高等教育機関の知の活用	0	0	
子育ての支援や地域の歴史・文化・産業等の学びの推進	3	3,498	秋山郷の暮らしと将来を学ぶ塾の復活
若者定着のための就業支援・産業創出	3	9,134	志賀高原星のハッカソン、障がい者就労A型事業(農福連携)
一人多役等ライフスタイルの発信と移住・交流・まち(むら)づくり	0	0	
雪対策と利雪の推進	1	2,400	雪室商品ブランド化・雪室利活用推進
医療・公共交通等の生活基盤の整備	0	0	
通年型の広域観光の推進	8	14,674	学生による志賀高原観光振興プロジェクト
農産物の生産・販売強化と魅力の発信	2	4,482	「木島平米ゴールドプレミアムライスAAA」PR・ブランド化
合 計	21	40,366	

### 2 申請者区分別の選定状況

(単位:千円)

申請者区分	件数	支援額
市町村	6	15,575
広域連合等	0	0
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	23	44,422
合 計	29	59,997

確かな暮らしが営まれる美しい信州

～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5か年計画)

推進中

北信地域振興局 企画振興課

(課長)若林 正展 (担当)高橋 弘樹

電 話 : 0269-23-0201 (直通)

F A X : 0269-23-0256

E-mail : hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

平成30年度「地域発 元気づくり支援金」【北信地域】選定事業一覧表

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	総事業費 (千円)		支援金 内定額 (千円)	重点テーマ区分
						うち支援金 要望額		
1	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	農福連携による就労継続支援A型事業	(株)アルビスファーム信州なかの	中野市において、障がい者就労継続支援A型事業所が農福連携事業を行い、地域の農業従事者と連携することにより、遊休荒地を活用し需要の高い農産物を栽培、販売する。 ①農業サポーター委託(3,252)、教育研修費(1,376) ②乗用型移植機、播種機、作業用トラクター、玉ねぎ・じゃがいも収穫機等の農業用機械購入(11,079)	15,706	11,028	6,000	若者就業支援、産業創出
2	保健、医療、福祉の充実	子供の居場所作り事業	信州Gプロジェクト	子どもの居場所・お茶室を提供し、子どもが楽しめるフェスを開催する。フェスでは信州プロレス等の企画のほか、タイガーマスケル計画の発信や一人親相談ブースの設置、こども食堂を実施している団体等と連携してフードドライブを実施するなど、北信地域で信州こどもカフェを推進していく機運を醸成する。 ①フェスHP作成(162)、信州プロレス出演料(324)、チラシ等広告宣伝費(350)、テント購入等その他フェス開催費用(623)、②移動ビザ購入(290)	1,749	1,268	1,268	こどもカフェ
3	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	信州中野おごっそフェア	信州中野おごっそフェア実行委員会	中野市防災広場において、中野市を中心とした信越自然郷の農産物の魅力を発信するため出店者を募り販売する。H30は「信州中野産」にこだわり、出店者にも中野産に関連する出品を検討させ、「信州中野産」を発信する。また、出店者カードを作成し、商談会など、出店者にビジネスチャンスを掴める企画にする。 ①会場設営(7,000)、広報(2,200)、交通警備・シャトルバス等(1,612)、イベント・企画等(6,230)	20,040	3,040	3,040	地域内経済循環
4	地域協働の推進	手づくり農村支援事業	中野市	農村地域における高齢化や後継者不足による農作業等の負担軽減と効率化を図るため、地域住民が協働して行う農道・水路の補修・整備の直接施工や維持管理活動に必要な材料支給・重機の提供等の支援を行う。 ②農道舗装9地区(5,540)、水路改修10地区(5,360)	10,900	5,450	5,450	
5	特色ある観光地づくり	信越自然郷におけるガストロノミー・ツーリズム推進事業	一般社団法人信州いいやま観光局	信越9市町村広域観光連携会議では、平成30年度の重点事業の一つとして「食文化」を掲げており、地域の食文化を生かした「ガストロノミー・ツーリズム」を推進することで、食を求めて来訪してもらえる地域として競争力を持った地域を確立していく。 ①料理教室の開催(講師謝礼・チラシ等)(500)、食材収穫体験ツアー宣伝費(400)、青空レストラン(調理人謝金・チラシ等)(1,000)、スローフード講演会(700)	2,600	1,875	1,875	通年型広域観光
6	特色ある観光地づくり	信越自然郷におけるウィンターアクティビティツーリズム促進事業	一般社団法人信州いいやま観光局	信越自然郷エリアにはスキー場をはじめ様々なウィンターアクティビティがあるが、各事業者間での連携不足から、広域的・統一的な情報発信や提供がされておらず、複数の観光地を周遊したい観光客のニーズに応えられていない。そのため、エリア内のスキー場等の各事業者との連携を強化し、エリア全体への来訪者を促すため、広域的・統一的な情報発信を行い、併せてウィンターアクティビティを経験したことがないファミリー層をターゲットとしたキャンペーンを実施する。 ①スキー場紹介冊子制作(2,700)、リアルタイム情報発信WEBコンテンツ(1,100)、チラシ等広告(400)、キャンペーン用ガイド謝金(300)、②デジタルサイネージ設置(189)	4,689	3,741	3,741	通年型広域観光
7	環境保全、景観形成	里山公園化を目指した無理のない持続可能な里山保全の仕組みと交流の場づくり	特定非営利活動法人フォレスト工房もくり	里山の保全のため、小規模田んぼの貸し出し、里山交流イベントワークショップ等の体験会の実施、間伐材の利用促進・6次産業化(ログファイヤー等製作販売)のための拠点整備を行う。 ①田んぼ管理用刈払い機等(192)、交流・ワークショップ(223)、間伐材利用促進用チェーンソー等(97)、②ログファイヤー乾燥用建屋建築(4,007)	4,518	3,328	2,974	
8	特色ある観光地づくり	第3回クラフトフェア北竜湖開催事業	北竜湖観光協会	H28年から飯山市北竜湖を会場に実施してきたクラフトフェア(10月)を定着させるため第3回目を開催する。また、通年型の観光イベントに昇華させるために、戸狩ふれあい芸術祭(5月)、斑尾高原芸術祭(9月)、霊仙寺湖フリマ(3月)と連携し、H31年度から「信越自然郷アート・クラフトロード」としての開催を目指す。 ①チラシ等作成、ラジオ・SNS等広告宣伝費(769)、イベント実施費用(395)、HP更新(152)、施設使用料・シャトルバス等イベント運営費用(461)	1,776	1,420	1,420	通年型広域観光
9	特色ある観光地づくり	千曲川・高社山SEA TO SUMMIT事業	千曲川・高社山SEA TO SUMMIT実行委員会	カヌー・自転車・登山の3種類のアクティビティをつないで旅を楽しむ「SEA TO SUMMIT」をH29年に初めて開催したところ、全国12箇所の中からSEA TO SUMMITアワード2017を受賞。H30年は木島平村も主催者に加え、運営ノウハウの習得、ガイド等の人材育成を図り、将来的には自主開催(グリーン期の旅行商品化)できるよう取組む。 ①運営費(4,500)、設備費(1,500)、広報費(1,200)、講演会費(500)、人材育成費(150)	8,300	2,000	2,000	通年型広域観光
10	教育、文化の振興	市民第九コンサート	市民第九コンサート実行委員会	飯山市文化交流館なちゆらの開館を機に、市民による第九コンサートを2回開催してきたが、当初の目的である「飯山音楽祭」へと発展させるため、H30年は、0歳児から楽しめるコンサートや飲食しながら気軽に音楽を楽しめる「歌声居酒屋」など、様々な音楽企画を開催し、幅広い世代で多くの音楽ジャンルが集う「プレ飯山音楽祭」として実施する。 ①オーケストラ委託費(2,459)、合唱指導者等謝金・旅費(1,223)、会場使用料(425)、広告宣伝費(223)	4,575	1,200	1,200	

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	総事業費 (千円)		支援金 内定額 (千円)	重点テーマ区分
						うち支援金 要望額		
11	その他 (産業の振興及び雇用の拡大)	障がい者総合支援法に基づく就労継続支援A型事業	株式会社フジすまいるファーム 飯山	障がい者就労継続支援A型事業所を立上げて3年目、引き続き遊休農地を開墾し伝統野菜の坂井芋等を栽培、農産物の加工・販売を行うことにより、農業の振興を図るとともに障がい者の自立を支援する。 ①雪室研究用資材購入(12)、②耕耘機、管理機、噴霧器等農業機械購入(1,770)、開墾費用(300)	2,082	1,561	1,561	若者就業支援、産業創出
12	農業の振興と農山村づくり	飯山のそばによる元気な地域づくり事業	飯山そば振興研究会	飯山市内には小規模なそば生産者団体が多くいるが、収穫機や粉摺機、乾燥機等の機械を所有していないため、収穫時期を逃し収穫量が少ないのが課題。そのため、共同利用できる機械を購入し、収穫量を増やす。加えて、収益を増やすため、加工・運作障害対策や二期作の試験栽培等を行い、そばの振興を図る。 ①運作障害対策・二期作試験栽培(401)、情報発信・PR(206)、②収穫機、乾燥機、粉摺り精米機(4,137)、急速冷凍機、真空包装機等(2,020)、コンテナ等そば打ち場整備(759)	7,521	5,670	3,422	農産物生産・販売強化
13	その他 (産業の振興及び雇用の拡大)	かまくらの里どぶろく事業	かまくら祭り実行委員会	外国からも注目を浴びている飯山市外様地区のかまくらレストランのさらなる魅力向上のため、H29年12月に「どぶろく特区」の認可を受け、かまくらでどぶろくを提供する。そのため、どぶろく製造所の整備と製造機器の購入を行う。 ①ピン等どぶろく製造機器(595)、種類製造免許等申請費用(196)、②どぶろく製造所工事一式(1,200)	1,949	1,498	1,341	地域内経済循環
14	地域協働の推進	協働のむらづくり事業	飯山市	住民と市が協働して農林業用施設を整備することにより、事業費を圧縮、施設の維持管理作業を軽減し、農林業生産の効率を高める。また、協働作業を通じて住民同士の交流、施設管理意識の向上を図る。 事業実施予定39箇所、うち支援金対象:農林道舗装等11箇所、水路改修13箇所、林道舗装2箇所 ②原材料購入費(7,080)	7,080	4,186	4,186	
15	特色ある観光地づくり	スノーリゾート受入観光地協議会誘客宣伝事業	スノーリゾート受入観光地協議会	平成28年からJR西日本や旅行会社と協力して誘客宣伝事業を行ってきたおり、H30は旅行代理店の販売担当者を招き、実際に二次交通を利用しながら複数のリゾートエリアを体験してもらうことで、具体的な説明ができる販売担当になってもらう。PR不足も課題であるため、関西圏で販売されている有名月刊誌に、信越・白馬エリアへのアクセスや魅力を掲載・PRする。加えて、大阪駅での誘客宣伝キャンペーンを実施する。 ①販売担当者視察研修(1,135)、月刊誌広告記事掲載(2,160)	3,700	2,419	1,702	通年型広域観光
16	環境保全、景観形成	志賀高原ユネスコエコパーク「絆」創造事業	志賀高原ユネスコエコパーク活用山ノ内協議会	「自然と人間社会の共生」というユネスコエコパーク指定の理念に基づき、産業振興と環境教育推進のため、ESD(持続可能な開発のための教育)活動を通じて、未来の担い手を育成するほか、その魅力を発信し、観光等地域産業の発展を目指す。 ①DVD、VR映像制作(2,106)、植樹モニタリング調査、苗の採取活動、活動報告等(791)、ADMORIサポーターズ倶楽部(滞在費助成、ノベルティ)(134)、森林セラピー開催費(243)、②ESD活動環境整備費(植生保護・コンパネ敷設)(448)	3,772	2,954	2,635	子育て支援、学びの推進
17	環境保全、景観形成	雪室スノーパル活用促進事業	山ノ内町雪室利活用協議会	山ノ内町須賀川地区に設置した雪室「スノーパル」の認知度を高め、利活用を推進するため、雪室コンビニの実施やブランド企業(松屋銀座等)と連携してPRすることで雪室商品のブランド化を図る。 ①雪室コンビニ開催費(1,164)、松屋銀座コラボ出店等(1,195)、雪室貯蔵品のパッケージ等ブランド化(641)	3,000	2,400	2,400	雪対策と利雪
18	その他 (産業の振興及び雇用の拡大)	第1回 志賀高原星のハッカソン	合同会社 MOUNTAIN DISCOVERY	志賀高原の観光客は減少傾向にあるが、こうした地域課題を解決するため、首都圏の学生、企業を誘致してハッカソン(ソフトウェア開発合宿)、コンテストを実施する。コンテストで優秀と判断されたアイデアには事業資金を付け、志賀高原の観光客増加を推進する活動を実施してもらう。また、サテライトオフィスを設置し、地域と首都圏をつなげることで、首都圏の学生が地元企業へ就職する等、発展を目指す。 ①学生・審査員交通費33人分(674)、学生・審査員宿泊費4泊分(1,320)、審査員謝礼3人分(300)、ハッカソン用PC(480)、映像制作(326)、事業準備費(誘致等経費)(300)	3,498	2,719	1,573	若者就業支援、産業創出
19	特色ある観光地づくり	大学・各種学校との志賀高原連携事業「学生による志賀高原観光振興プロジェクト」	志賀高原観光協会	近年、若者のスキー離れ等から、若者の志賀高原の認知度は低い傾向にある。そこで、志賀高原で大学の観光系の学部によるゼミや研究が行われている実情があることから、志賀高原の遊休店舗を活用したカフェ等の店舗運営の場を大学に提供し、若者の活気ある志賀高原を連続的に演出・発信することで、国内の観光誘客につなげる。 ①学生滞在・交通費6校60人分(2,568)、講師謝礼4人分(40)、学生町内研修用バス(162)、店舗装飾6店舗分(900)、チラシ等広報費(103)、HP制作(270)、上記手配一式手数料(307)	4,800	3,840	1,581	通年型広域観光
20	地域協働の推進	地域協働で農業に活力を与えるための施設整備(農道整備)	山ノ内町	高齢化等により農業経営の先行きが不安定な中、地域住民が協同で農道等の整備を行うことにより地域のつながりを深め、農業に活力を与え、農村全体が元気になる。 ②農道舗装4地区 原材料費(2,090)、重機借上料(1,035)	3,185	1,592	1,592	
21	安全・安心な地域づくり	村民総ぐるみの見守り隊企画	木島平村学校運営協議会	H28に実施した協議会のコミュニティスクール研修会で、学校があいさつ活動に力を入れていることを知り、地域の大人からも積極的に日常的にあいさつや声かけができるような仕組みとして見守り隊をつくらうとの意見が出たことから、見守り隊を組織し、活動するための統一ジャケットを制作する。 ①統一ジャケット70着制作(426)	426	319	319	子育て支援、学びの推進

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円) (主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	総事業費 (千円)		支援金 内定額 (千円)	重点テーマ区分	
						うち支援金 要望額			
22	地域協働の 推進	空き店舗を利用 した「むらびと サロン」リノ ベーションプロ ジェクトⅡ	特定非営利活動 法人地域創生研 究所あつまれむ らびと	住民が地域課題について話し合う場づくりのため、空き店舗 を住民や大学生とともにリノベーション工事し、ワークショップ やトークイベントを行うことで、多様な人たちの居場所や出 番の創出基地にする。 ①リノベボランティア交通費、ワークショップ広報、講師謝礼 等(241)、②リノベーション材料費(1,001)	1,241	942	942		
23	特色ある 観光地づく り	木島平村の観光 客“30万人に 増”作戦	木島平村産業 ネットワーク協 議会	「木島平村観光基本計画」では、平成31年までに観光客入込 数を30万人にまで戻すことを目標に掲げており、そのために、 既存の旅行商品や地域資源・郷土料理を可視化、変換、開発 し、魅力アップを図る。このほか、近隣市町村と連携した広域 観光旅行商品の開発やインバウンド向けおもてなし研修会を開 催することで、「訪れる人が皆惚れ込む観光村の創造」を目指す。 ①旅行商品研修会講師謝礼等(265)、おもてなし講座講師謝 礼等(333)、旅行商品パンフ作成(89)、郷土料理パンフ作 成(89)	774	618	618	通年型広域観 光	
24	農業の振 興と農山村 づくり	木島平米「ゴー ルドプレミアム ライスAAA」 PR・推進事業	木島平村 産業 課 産業企画室	木島平村は米どころとして、木島平米等のブランド化に取り 組んできたが、H29年11月に、米・食味分析鑑定コンクール国際 大会にて、全国で4番目(長野県では初)となる「ゴールド プレミアムライスAAA」に認定されたことから、より多くの消 費者等に周知し、「木島平村=木島平米=ブランド米産地」と のイメージを構築し、さらなるブランド化を目指す。 ①広告掲載費(195)、PR用チラシ・ノベルティ等(366)、 ラジオ出演経費(160)、AAAシール(284)、精米機(33)、 商談会負担金等(270)	1,326	1,060	1,060	農産物生産・ 販売強化	
25	特色ある 観光地づく り	Nozawa Green Fes 2018開催	Nozawa Green Fes 実行委員会	野沢温泉では、冬のみ営業する宿や飲食店が増加しており、 グリーンシーズンにおける集客が課題である。そこで、村内の クラフトビール醸造会社が主体となり、ビールと食と自然を テーマにしたGreen Fesを開催し、大自然の中、大人も子ども も楽しめるイベントとすることで、宿泊客の増加など村内地域経 済への貢献を目指す。 ①イベント運営費(400)、送迎バス(200)、ビールサーバー (250)、オリジナルグラス(250)、チラシ等広告(320)、 海外プルワリー謝礼(400)、HP(150)、会場使用料 (100)、②中温用冷蔵庫(808)、冷蔵庫ドアカーテン (141)、冷蔵設備工事費(943)	4,063	2,902	1,737	通年型広域観 光	
26	地域協働の 推進	手づくり農道舗 装等事業	野沢温泉村	農地・林地の荒廃を防ぐため、地元住民が互いに協力し必要 な農道舗装等を行い、農作業の効率化と生産意欲の向上を図 る。 ②原材料費支給 農林道3か所(1,302)、水路1か所 (1,010)、林道路盤整備1か所(160)	2,472	1,647	1,647		
27	教育、文化 の振興	秋山郷の暮らし と将来を学ぶ	信越秋山郷会	秋山郷には貴重な民俗資料が残されているが高齢化が著し く、文化資源をどのように引き継いでいくかが課題となってい る。これからは、都会に暮らしながら秋山郷へ定期的に通っ てくれる「関係人口」も視野に入れながら、秋山郷の今後の観 光のあり方と振興を検討するためのシンポジウムと秋山郷の自然 や暮らしを知り、体験する塾(春・秋)を開催する。 ①講師等謝礼(335)、チラシ等作成(226)、看板作製等 (55)、バス借上げ(50)	681	544	544	子育て支援、 学びの推進	
28	その他 (産業の振 興及び雇用 の拡大)	極野里の幸プロ ジェクト	極野山菜生産販 売組合	栄村東部に位置する極野地区は、林業や山菜、きのご販売等 で栄えていたが、高齢化で山に入らなくなり、山が荒れるよう になった。そのため、組合や住民で協議し、H29年に公民館内 に惣菜の加工施設を新設し、山菜等の加工品づくりを行って いくことを決めた。開発に当たっては、山菜に詳しいプロの料理 人を講師に招いた料理教室を開催し、広く参加を募って他地区 での事業の広がりも期待する。 ①料理教室講師謝礼・チラシ等(217)、加工品開発用備品購 入等(181)、加工品パッケージデザイン等ブランディング (216)、弁当販売用チラシ、箱・箸等(50)	723	529	529	地域内経済循 環	
29	地域協働の 推進	農地等国土保全	栄村	農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の 軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び用 排水路等について、村が原材料等を支給する。 ②原材料支給(農道舗装等1箇所、水路等改修6箇所(2,906))	2,896	1,640	1,640		
北信地域振興局 計					29事業	130,042	73,390	59,997	